

## 1 調査日時

平成29年4月18日(火)

## 2 調査対象

小学校(義務教育学校前期課程含む)  
第6学年  
中学校(義務教育学校後期課程含む)  
第9学年

## 3 調査学校・児童・生徒数

( )内は本区

【小学校・義務教育学校(前期課程)】  
19,876校(37校)  
第6学年 999,683人(2,215人)

【中学校・義務教育学校(後期課程)】  
10,467校(15校)  
第9学年 982,511人(1,498人)

## 4 調査内容

### (1) 教科に関する調査

◇主として「知識」に関する問題

〔国語A、算数・数学A〕

◇主として「活用」に関する問題

〔国語B、算数・数学B〕

### (2) 生活習慣や学習環境に関する調査

◇児童・生徒質問紙調査

(全児童・生徒対象)

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

◇学校質問紙調査(校長対象)

指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況に関する調査

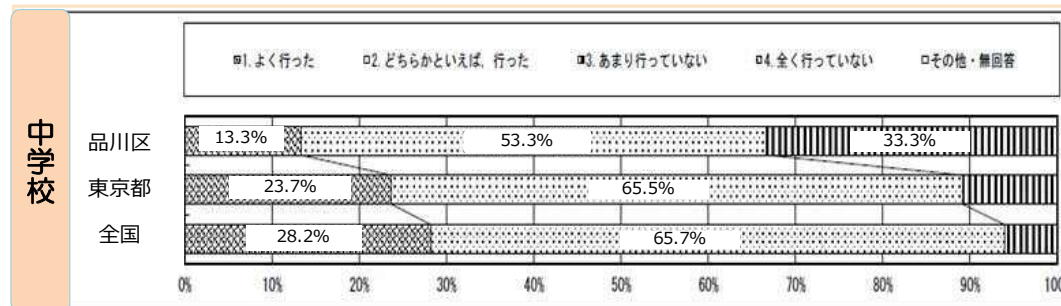
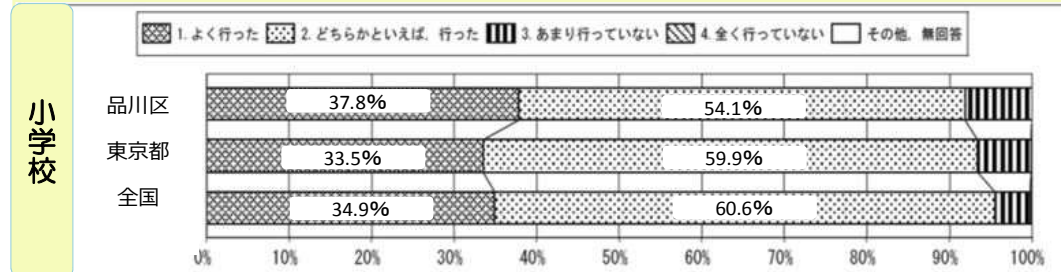
## 5 教科に関する調査の結果の概要(正答率)

小学校	品川区	東京都	全国	中学校	品川区	東京都	全国
国語A	78%	76%	75%	国語A	78%	79%	77%
国語B	62%	60%	58%	国語B	74%	74%	72%
算数A	84%	81%	79%	数学A	67%	66%	65%
算数B	53%	49%	46%	数学B	51%	50%	48%

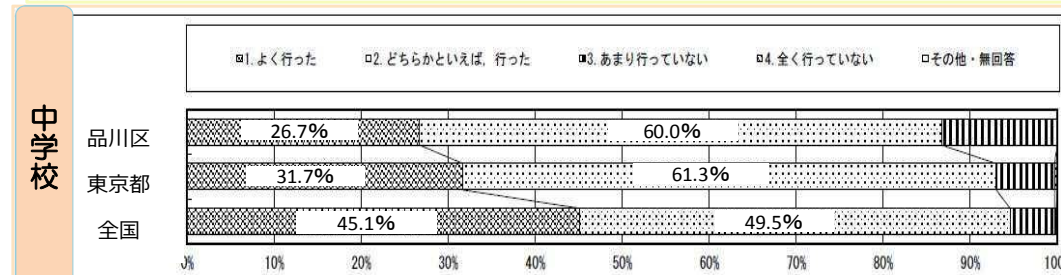
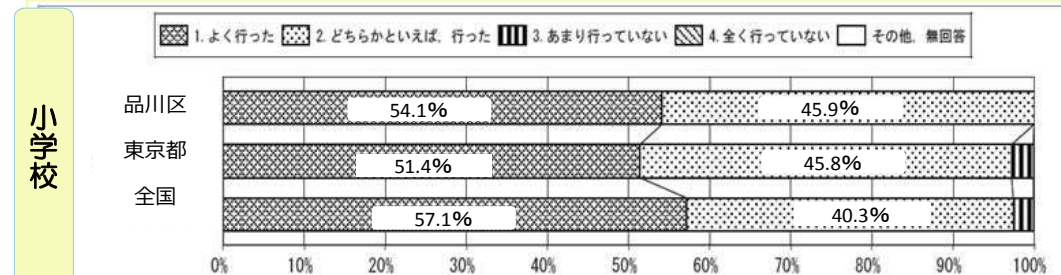
○ 小学校では全ての調査において、全国および東京都の平均正答率を上回っている。中学校では、国語Aにおいて東京都の平均正答率を若干下回った。

## 6 学校質問紙調査の結果概要

○様々な考え方を引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか。



○学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか。

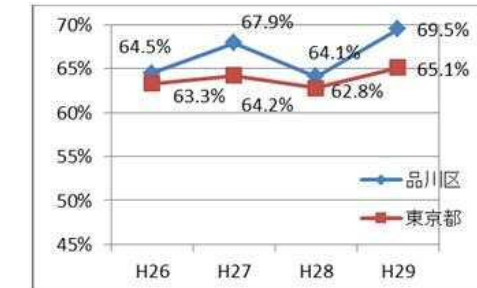


○ 小学校では、様々な考え方を引き出すような発問の工夫や、話し合いを取り入れた授業を多く行っているが、中学校では、あまり行っていない傾向が見られ、課題である。

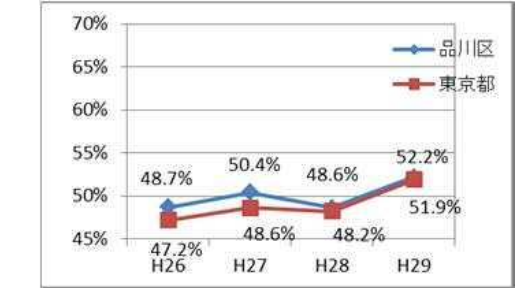
## 7 児童・生徒質問紙調査の結果概要

○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。(肯定的な回答の割合)

<小学校>

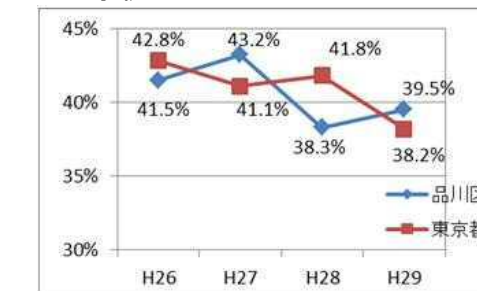


<中学校>

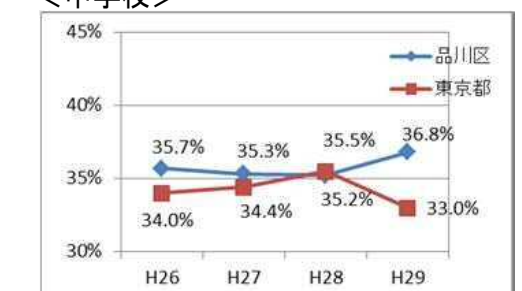


○家で、学校の授業の予習をしていますか。(肯定的な回答の割合)

<小学校>

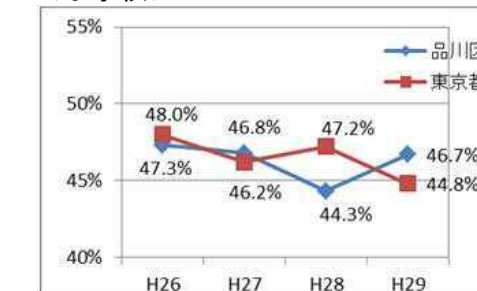


<中学校>

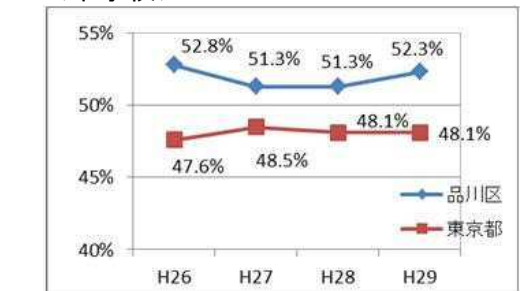


○家で、学校の授業の復習をしていますか。(肯定的な回答の割合)

<小学校>



<中学校>



○ 小学校、中学校ともに、計画的な学習や予習・復習をしていると回答した割合が昨年度より上昇した。いずれも東京都を上回っている。

## 8 考察

<小学校>

授業の工夫と家庭学習の充実が良好的な結果を導いた要因の一つと言える。また、全ての調査において、記述式の無解答率が、全国や東京都よりも低い。

<中学校>

調査結果は概ね良好であるが、言語活動の充実など一層の授業改善が求められる。また、「国語A」では、古典や書写の基礎的事項の定着に課題が見られた。

<共通>

「自尊感情が高い」「学校の規則を守っている」「友達の約束を守っている」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」「家の人は、授業参観や運動会などの行事に来る」と回答した児童・生徒は、教科に関する調査の平均正答率が高い傾向がある。